

あなたは、一人じゃない

一人居て喜ばは 二人と思うべし、二人居て喜ばは

みたり三人と思うべし、その一人は親鸞なり。(御臨末の御書／伝親鸞)

親鸞の命が終わりに近づこうとしていた時、周りにいた人たちはある不安を覚えていました。「もし聖人がお亡くなりになってしまったら、誰にお念仏の教えを伝えてもらえばよいのだろうか」と。

すると親鸞は、「私が浄土にかえろうとも、心配しないでください。あなた方のそばにいますから。一人で仏法の喜びをいただいたのなら、二人の喜びだと思いなさい。二人で喜びをいただいたなら、三人の喜びだと思いなさい。そのうち一人は私親鸞です」と言い、人々を励ましたのです。

私がいなくなっても、お念仏の教えは尽きることがない。そのことを伝えようと言われた言葉です。

